

# 安足地域麦類技術情報 No.4

令和5(2023)年2月20日  
安足農業振興事務所

- 茎立期直前までにもう1回麦踏みをしませう
- 早めに雑草防除を行いませう

## 1 気象経過と生育概況

11月から1月末までは、平年に比べて気温は高く、降水量は少なく推移しました。適期に播種できたほ場では、平年に比べて生育は旺盛で、茎数が多くなっています。

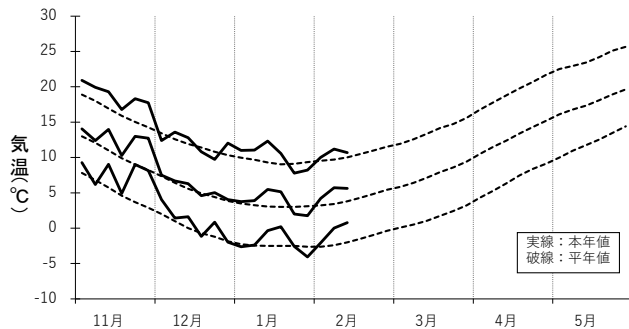


図1 半旬別平均気温の推移 (観測地点: 栃木県佐野市)

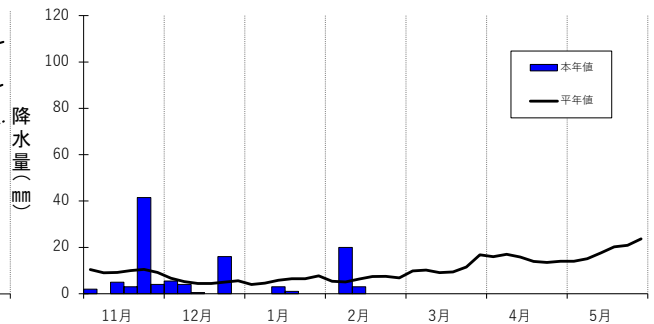


図2 半旬別積算降水量の推移 (観測地点: 栃木県佐野市)

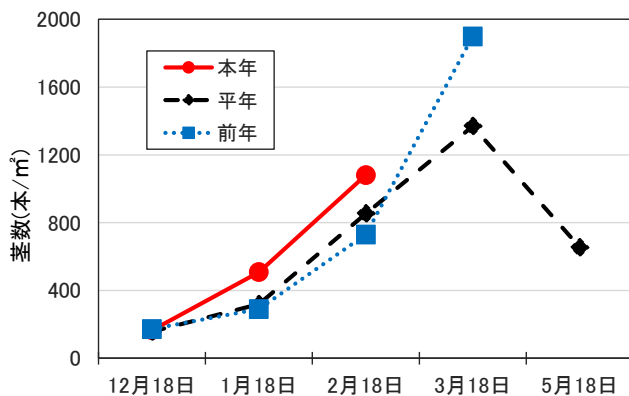


図3 茎数の推移

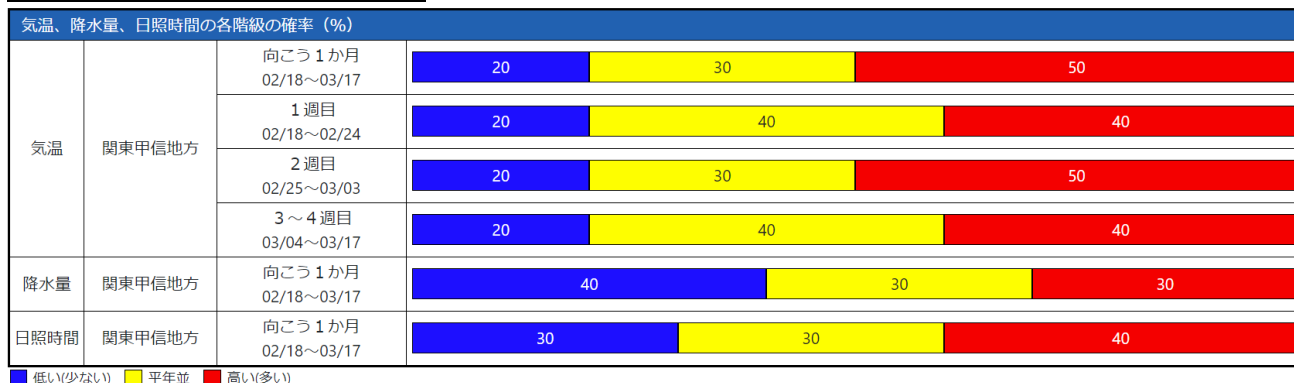


写真 麦の生育の様子 (2月16日撮影)  
播種日: 11月18日  
品種: ニューサチホゴールデン

## 2 今後の気象と注意点

気象庁の1か月予報(2月16日発表)によると、向こう1か月の気温は高い確率50%、降水量は少ない確率40%という予報が出されています。

安足地域の莖立期は、11月中旬播種のほ場で3月上旬頃ですが、今後気温が高く推移すると、麦の生育が進み、莖立期が早まる可能性があります。タイミングを逃さず、莖立期直前までにもう1回麦踏みを行います。



### 3 今後の栽培管理

#### (1) 莖立期直前までにもう1回麦踏みをしなさい

莖立期直前の麦踏みは、穂揃いを良くし、成熟ムラの無い倒伏しにくい麦にする効果がある重要な作業です。

麦の生育を確認し、莖立期の前（踏んでみて麦がポキポキ折れない状態）であれば、あと1回麦踏みを行います。

#### (2) 早めに雑草防除を行います

雑草が繁茂すると収量や品質の低下を招きます。例年雑草が多くみられるほ場ではこまめに発生状況を確認し、早めに防除を行います。

発生している雑草	除草剤名
スズメノテッポウ、一年生広葉雑草	ハーモニー75DF水和剤
ヤエムグラ、一年生広葉雑草	エコパートフロアブル
一年生雑草	バサグラン液剤

※除草剤(農薬)を使用する時は、ラベルの表示をよく確認し、基準を守って使用してください。

※麦の生育期に除草剤を使用する場合、雑草の生育が進むと効果が劣るので注意しましょう。

問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課

TEL: 0283-23-1431

URL: <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>

